

第5回「総合的な学習の時間」

テーマ設定



芝浦工業大学柏中学高等学校

本時の内容

1. LIFEログについて
2. テーマ設定
3. RefNaviについて

本時の内容

1. LIFEログについて
2. テーマ設定
3. RefNaviについて

「LIFEログ」と「1年間の振り返り」

今日の振り返りが、明日の自分をつくる！

① LIFEログ（毎回やる）

日々の学びをふり返る（短期）

🕒 授業の中で約10分



LIFEログで書く内容

教科学習



探究



学校行事・部活動・
学校外活動



LIFEログのルーブリック

- ① レベル1：体験を思い出す
- ② レベル2：自分を評価する
- ③ レベル3：変化に気づき、次につなげる

🚦 イメージ：LIFEログ＝ハンドル（進む方向を決める）

ふり返りを
積み重ねると…



② 1年間の振り返り（最後にやる）

1年間の成長をふり返る（長期）

📅 年度末に実施



自分はどう変わった？

1年間で、自分の考え方や
行動の変化はあった？



どんな力がついた？

学びを通して、どんな力が
身についた？



何を大切にしたい？

自分が大切にしたいことや、
これからも続けたいことは？



次はどうつなげる？

これからの自分に、
どう生かしていきたい？

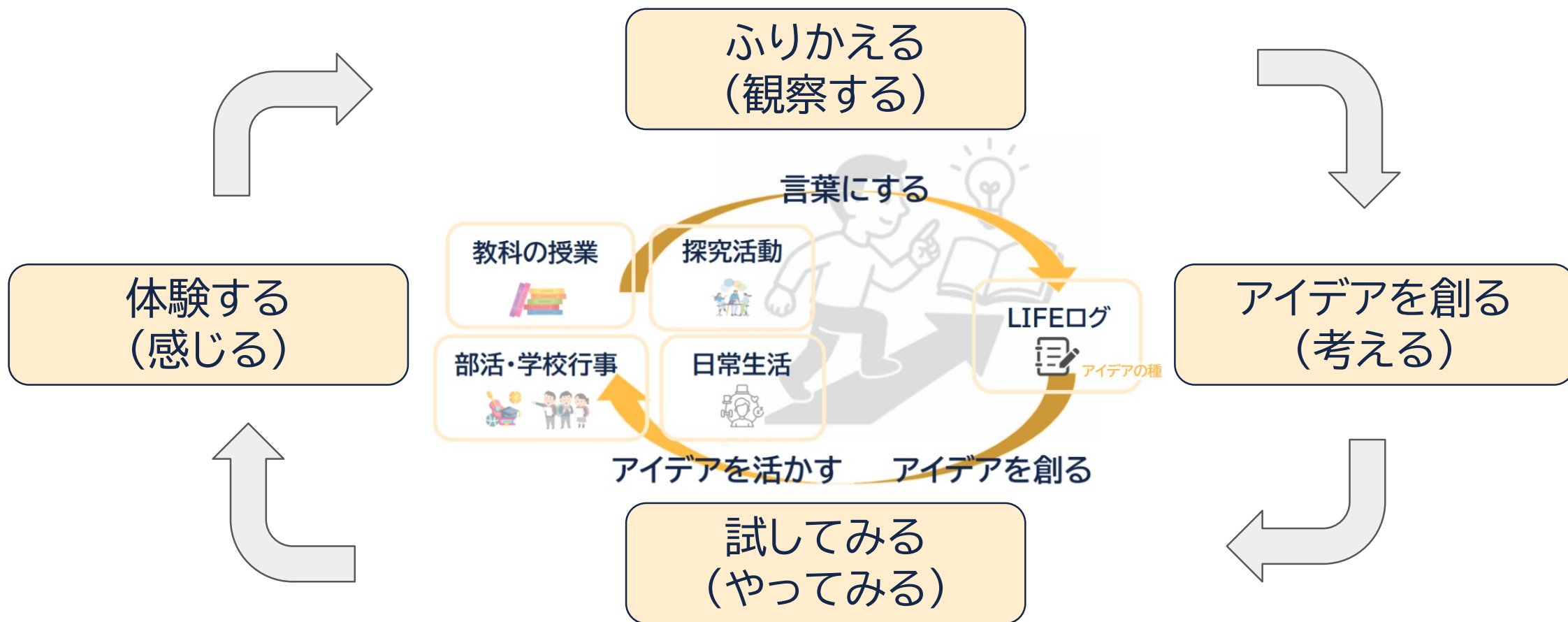


イメージ：1年間の振り返り＝鏡（自分を見つめる）

1. LIFEログについて

学びのサイクル

「体験する」→「ふりかえる」→「アイデアを創る」→「試してみる」→...



「LIFEログ」のポイント

ループリックを意識して、書きましょう！

レベル1 体験を思い出す振り返り	例：今日はスーパーでレジの体験をした。最初に店長さんから商品のバーコードの読み取り方を教わった。午後は品出しも手伝った。
	体験したことを、そのまま書いている段階です。この段階では、「何をしたか・何があったか」という事実の記録中心で、そのときに感じたことや考えたことはあまり記されていません。 ・「〇〇を疑問に思った」「××を行った」など、事実の記録が中心。 ・自分の考えはあまり書かれておらず、単なるまとめになっている。
レベル2 自分を評価する振り返り	例：今日はスーパーでレジの体験をした。レジ体験では、落ち着いてバーコードを読むことができてよかった。しかし、お客様との会話では声が小さくて聞き返されることがあった。
	自分の行動や結果に対して「うまくできた」「ここは失敗した」など、自分を客観的に考察する段階です。この段階では、「うまくできた」「ここは失敗した」という結果の良し悪しを考えているだけになります。 ・学習の成果を確かめているが、自分の考えの変化までは深く触れていない。 ・自分の行動を確かめているが、次の成長や挑戦に触れていない。
レベル3 自分の変化に気づき、次の活動へつなげる振り返り	例：職場体験を通して、自分から声をかけることの大切さに気づいた。以前は「失礼だったらどうしよう」と思って話しかけるのをためらっていたが、今は相手に関心をもつことで会話が生まれると感じるようになった。人と関わる仕事に興味がわいてきた。
	学びの中で、ものの見方や考え方、自分の価値観が変わったことに気づく段階です。この段階では、自分の考え方や価値観の変化に焦点があり、体験から意味づけや次への意欲が生まれています。 ・「前はこう思っていたけれど、今はこう考えるようになった」といった変化を言語化している。 ・学びに意味づけが生まれ、次の成長や挑戦につながる。

タイトル

下の例のように、書いた内容を一言で表すタイトルをつけましょう

例

日々の活動の中で、感じたこと・考えたことを**自分の言葉**で書いてください。

教科学習	タイトル：伝える姿勢の大切さに気づいた英語スピーチ
	英語の授業でスピーチを行い、事前に準備した原稿をもとに発表した。最後まで話し切ることができた。内容は伝えることができたが、発音に自信が持てず、声が小さくなってしまったため、聞き取りにくい部分があったと感じた。間違いを恐れるよりも、相手に伝えようとするのが大切であると気づいた。今後は、自信をもって話せるようにしていきたい。
探究	タイトル：学びの捉え方の転換と問いに向き合う姿勢の変化
	探究を通して、以前までは学ぶことを「正しい知識を集めること」だと考えていたが、今は「自分なりの問いを持ち、それに向き合い続けること」だと思えるようになった。また、分からないことは恥ずかしいことだと思っていたが、今は分からないことがあるからこそ考える価値があると思えるようになった。
学校行事・部活動 学校外活動	タイトル：積極性の課題とチームへの関わりの重要性
	部活動の練習試合に出場し、後半からプレーした。守備の場面ではボールに関わることができ、試合にも勝利することができた。守備面では安定したプレーができた一方で、自分からボールをもらいにいく動きが少なく、積極性に課題が残った。チームに貢献するためには、自ら動いて関わるのが重要であると気づいた。今後は、より積極的にプレーしていきたい。

LIFEログの実施イメージ

「月末に3つの欄を完成させる」ために、「毎回の授業で10分程度」の時間をとる

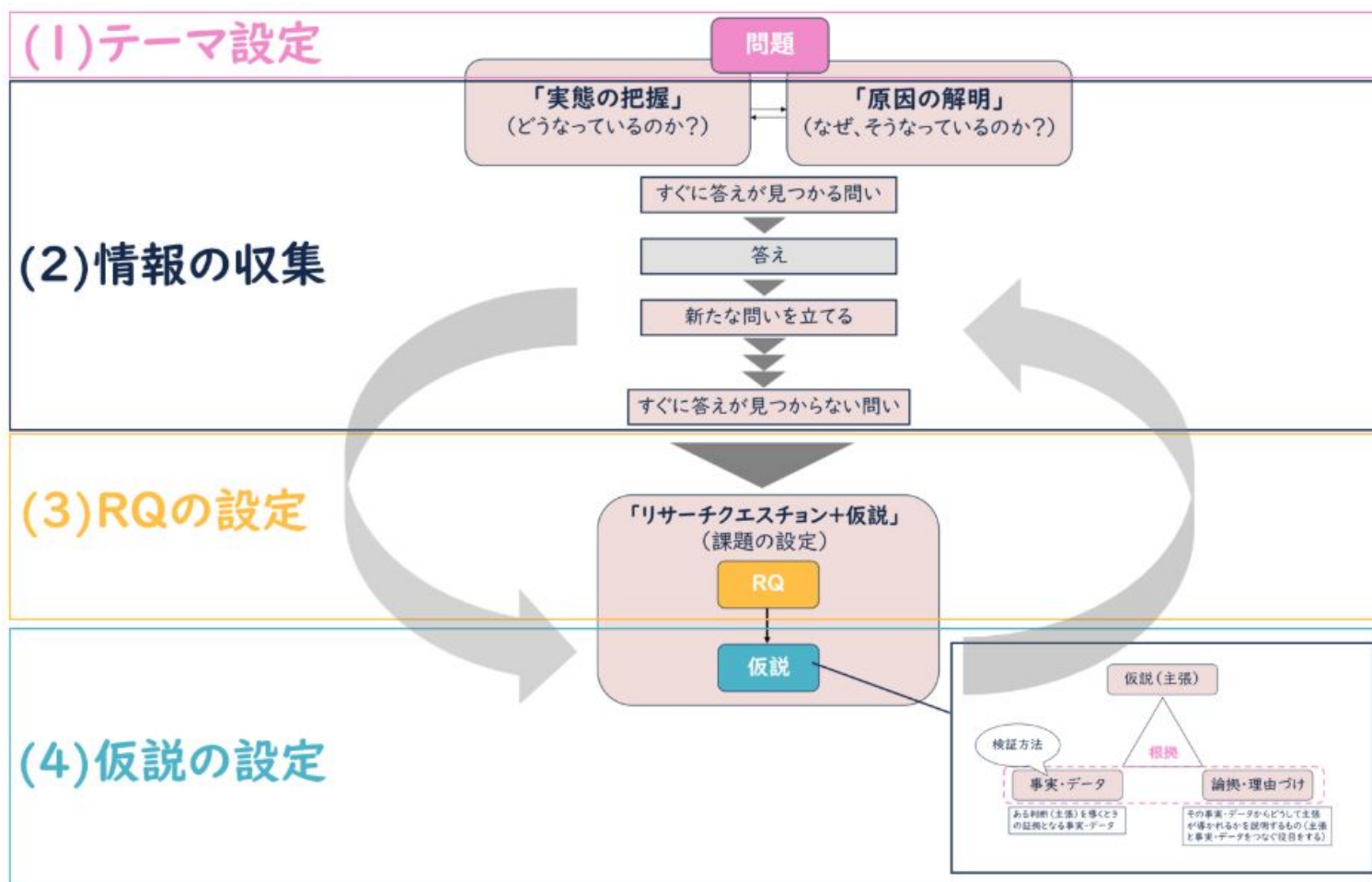
5月	
日々の活動の中で、感じたこと・考えたことを自分の言葉で書いてください。	
教科学習	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)
探究	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)
学校行事・部活動 学校外活動	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)

本時の内容

1. LIFEログについて
- 2. テーマ設定**
3. RefNaviについて

探究活動のSTEP

以下のSTEPを進めていく



2. テーマ設定



探究ノート

Classroom「中学1年全体連絡」に配信

中学28期
(中1総合学習)

探究ノート

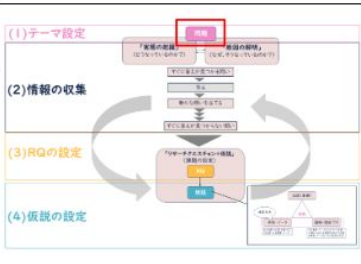
クラス	1 -	番号		氏名	
-----	-----	----	--	----	--

まずは「クラス」「番号」「氏名」を記入する

2. テーマ設定

(1)探究テーマを決めよう！ STEP1

「探究テーマ」を決めるために、STEP1～4までの活動を行う

(1) <u>テーマ設定</u>	
【探究テーマ】 マインドマップを踏まえて、これから行う探究活動のテーマを決めよう。 まずは現時点で設定したものを記し、変更になった際には、更新していきましょう。	

STEP1

マインドマップを見て、「印象に残った言葉」をまとめてみよう

例

テーマ	鳥取県の公共交通機関の維持について
キーワード	公共交通, 人手不足, 観光, 過疎化
選んだ理由	鳥取県のバス路線の廃止について新聞で読み、公共交通の維持に興味を持った。また、公共交通はモードやルート、時刻の変更などさまざまな手を加えることで、利用者を増やせる可能性があるため、鳥取県の公共交通の維持につながる取り組みについて探究したいと考えた。大学では公共交通政策について学び、自分の将来の仕事にもつなげたい。

★上記の表を記入する際のポイント

(STEP1)マインドマップを見て、「印象に残った言葉」をまとめてみよう

印象に残った言葉	選んだ理由
(例)バス路線	新聞で鳥取県のバス路線廃止について知り、地域の人々の移動手段が失われることに関心をもった。なぜ路線が廃止されるのか、また地域の交通をどのように守ることができるのか調べてみたいと思った。

テーマ	
キーワード	
選んだ理由	

(月 日 現在)

STEP2

STEP1で挙げた言葉から関連する情報を集めよう

STEP1

マインドマップを見て、「印象に残った言葉」をまとめてみよう

★上記の表を記入する際のポイント

(STEP1)マインドマップを見て、「印象に残った言葉」をまとめてみよう

印象に残った言葉	選んだ理由
(例)バス路線	新聞で鳥取県のバス路線廃止について知り、地域の人々の移動手段が失われることに関心をもった。なぜ路線が廃止されるのか、また地域の交通をどのように守ることができるのか調べてみたいと思った。

STEP2

STEP1の言葉から関連する情報を集めながら、探究活動のテーマとして取り上げてみたい内容を表す言葉を挙げてみましょう

(STEP2)上記の言葉から関連する情報を集めながら、探究活動のテーマとして取り上げてみたい内容を表す言葉を挙げてみましょう

テーマにしてみたい言葉	(例)公共交通機関,地域,コミュニティ,まちづくり,観光

STEP3

STEP2で挙げた言葉から最も自分が興味・関心を持てる言葉を挙げよう

STEP2

STEP1の言葉から関連する情報を集めながら、探究活動のテーマとして取り上げてみたい内容を表す言葉を挙げてみましょう

(STEP2)上記の言葉から関連する情報を集めながら、探究活動のテーマとして取り上げてみたい内容を表す言葉を挙げてみましょう

テーマにしてみたい言葉	(例)公共交通機関,地域,コミュニティ,まちづくり,観光

STEP3

STEP2の言葉の中から、最も自分が興味・関心を持てる言葉を「テーマの中心となる言葉」として挙げ、それに関連する言葉を複数書いてみよう

(STEP3)上記で挙げた言葉の中から、最も自分が興味・関心を持てる言葉を「テーマの中心となる言葉」として挙げ、それに関連する言葉を複数書いてみよう

例

テーマの中心となる言葉	公共交通機関
関連する言葉	バス, 鉄道, 飛行機, 人手不足, 利用者の減少, 観光列車, 過疎化, 赤字路線, 旅行, 特徴のある路線, 混雑, 免許返納, 高齢化, 買い物, 通院, 通学

テーマの中心となる言葉	
関連する言葉	

2. テーマ設定

STEP4

探究したいテーマが決まったら、以下の問いに答えて、内容を深めましょう

STEP3までを踏まえ、 探究テーマを決めよう

(STEP4)上記の内容をもとに、「テーマ」「キーワード」「選んだ理由」を考えます。下記のポイントを踏まえて、最上部の【探究テーマ】の表に記入しましょう。

<テーマのポイント>

これまで、習い事や部活動などで、多くの選択肢の中から自分で「決める」経験をしてきたはずですが

- 探究テーマも同様に、「自分で決める」という姿勢を大切にしましょう
- 期日を設定し、その期限までに自分でテーマを決定しましょう
- 一度決めた探究テーマも、活動を進める中でよりよいものが見つかれば、変更しても構いません

<キーワードのポイント>

- キーワードとは、その文などを理解するためにカギとなる「重要な語句」

<理由のポイント>

探究したいテーマが決まったら、以下の問いに答えて、内容を深めましょう

あなたの探究したい内容は「世の中の人」「社会」「自然」などどのように関わっていますか？

(例)鳥取県の公共交通は、地域に住む人の移動手段として、通学や買い物、高齢者の生活を支える大切な役割があります。バス路線がなくなると生活が不便になり、地域の活気が失われる可能性もあるため、社会全体に関わる問題だと考えています。

その内容を探究することで、毎日の学習や学校生活、将来の生き方に影響を及ぼすものがありますか？

(例)公共交通について調べることで、社会のしくみや地域の課題について深く考える力が身につくと思います。また、将来は公共交通に関わる仕事に就きたいと考えているため、今の学びが将来の進路や生き方につながると考えています。

本時の内容

1. LIFEログについて
2. テーマ設定
3. RefNaviについて

RefNaviとは

RefNavi(レフナビ)は、探究学習での情報収集を支援する無料のWebサービス

- ❑ 出典の入力がとっても簡単！
- ❑ 一人ひとりの情報収集の状況が見える化し、教員が助言
- ❑ 生徒自身も進み具合を把握し、振り返ることができる
- ❑ 集めた情報を教員や生徒同士で共有することができる

3. RefNaviについて



ログイン方法

以下のSTEPで進もう！

STEP1

RefNaviのページへ



こちらをクリック

STEP2

このページを「ブックマーク」する
Googleでログイン(学校アカウントで)



 Googleでログイン

 Microsoftでログイン

登録された情報数：24,184

ログイン方法

以下のSTEPで進もう！

STEP3

学校アカウントを選択

 Google でログイン

アカウントを選択してください

[「refnavi.net」](#) に移動



STEP4

「児童・生徒」を選択
「グループコード」は先生の指示に従う

先生か児童生徒のどちらか選んでください。

☒ 児童・生徒

☐ 先生

グループコード：

RefNaviに入る

・児童生徒の場合、担当の先生が発行する「グループコード」を入力してください。

・先生の場合、「利用申し込み」すると発行される学校コードを入力します。

 [利用申し込み](#)

 [お問い合わせ](#)

3. RefNaviについて

ホーム画面でできること



③ホーム画面



The screenshot shows the RefNavi home screen. It features a table with columns for 'No.', 'Name', 'Age', 'Sex', 'Height', 'Weight', 'Blood Pressure', 'Heart Rate', 'Respiratory Rate', 'Temperature', 'Pulse', and 'SpO2'. The table contains several rows of data, some highlighted in green. To the right of the table is a sidebar menu with various options like 'Home', 'Search', 'Add', 'Edit', 'Delete', 'Print', 'Export', and 'Import'.

No.	Name	Age	Sex	Height	Weight	Blood Pressure	Heart Rate	Respiratory Rate	Temperature	Pulse	SpO2
1	田中 太郎	25	M	175	70	120/80	75	18	36.5	75	98
2	山田 花子	22	F	160	55	110/70	68	16	36.2	68	97
3	佐藤 一郎	28	M	180	80	130/90	85	20	36.8	85	99
4	鈴木 美咲	21	F	155	50	105/65	65	15	36.1	65	96
5	高橋 健太	26	M	178	75	125/85	78	19	36.6	78	98

3. RefNaviについて

資料の登録方法(1つ登録してみよう！)



④資料の登録



リスト



検索結果	著者	発行年	操作
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...

⑥整理する（１） リスト